

足羽三山周辺のアザミウマ類 補遺2

柴田 智広*

Thrips around Asuwa three mountains additional records 2

Tomohiro SHIBATA*

(要旨) 著者は2012年から2019年の調査後、2019年から2021年にかけて足羽三山周辺に生息するアザミウマを継続調査した。本報では調査の結果新たに記録された4種のアザミウマを報告する。加えて2017年の報告で脱色前の写真(体色の情報)を示せなかった種の写真を掲載する。

キーワード：足羽三山、アザミウマ

1 はじめに

アザミウマ類は体長0.8~7mm程度の昆虫で、花・葉・茎・根などの植物組織上、森林などの堆葉層、枯葉・枯枝など枯死した植物上などに棲息する。現在日本に4科450種以上が知られているが(岡島・榎本)、これまで福井県では3種が知られているのみであった(岸本・佐々治, 1998)。著者は2012年から2021年にかけて福井県産のアザミウマ類を調査し、58種(未同定7種含む)を報告した(柴田, 2015; 2016a, b; 2017a, b; 2019; 2020; 2022)。このうち足羽三山からは37種のアザミウマを報告したが(柴田, 2017a; 2019)、調査時期(季節)の偏りや調査回数などの観点から未だ不十分である。

足羽山、八幡山、兎越山(以下足羽三山)は福井市の南西部に位置する孤立丘陵で、市街地に囲まれているが自然環境は比較的良好に保たれている。また、足羽三山周辺には草地・落葉広葉樹林・常緑広葉樹林など多様な自然環境が見られる。このため当地域のアザミウマ相は福井県嶺北地方の低地から低山地のアザミウマ相をある程度代表しうる。

本報では2012年から2016年及び2019年の調査後(柴田, 2017a; 2019)、2019年から2021年にかけて行った継続調査によって足羽三山周辺から新たに記録された4種のアザミウマを報告する。加えて図10から図25に2017年の報告で脱色前の写真(体色の情報)を示せなかった種の写真を掲載する。

2. 方法

調査は2019年5月4日、2020年8月30日、9月27日、2021年7月14日の計4回行った。八幡山における調査は豊小学校側登山口から月見広場・東側登山口(楠児童館付近)から月見広場・月見広場からおさごえ民家園の各ルート上で行った。兎越山における調査はおさごえ民家園からかんぼの宿を経て出雲大社までのルートで行った。これらのルートに加え、カルチャーパーク、西谷中央公園、コモソライフ花堂公園、測町から西谷までの狐川川岸と堤防沿いの草地、八幡山西側斜面を調査した。調査は上記のルート及び地域を歩きながらアザミウマの生息環境を見つけて行った。

採集はビーティング法(受け具は枯れ枝には大型の布を、草や花には小型のプラスチックトレイを用いた)及びルッキング法で行った。植栽された植物からは絵筆を用いて植物体から直接採集した。得られたアザミウマは管瓶に入れて持ち帰った。

採集した日のうちに管瓶に二酸化炭素を注入してアザミウマを麻痺させ、実体顕微鏡下で体色を観察すると同時に体色の記録を残すため写真を撮影した(特にアザミウマ垂目において同定の際に体色の情報は不可欠であるため)。その後、永久プレパラート標本作製し光学顕微鏡を用いて同定した。標本作製方法は基本的にOkajima (2006)に従った(封入剤はカナダバルサム、溶剤はレモゾールAとキシレンを使用した)。

同定は、クダアザミウマ科はOkajima (2006)、シマアザミウマ科はMasumoto & Okajima (2019)、アザミウマ科は工藤・芳賀(1988)、Kudo (1991; 1992a, b, c)、Masumoto (2009)に従った。また、標本の一部は横浜植物防疫所の榎本雅身博士に送り同定していただいた。標本は著者が保管している。

*福井市自然史博物館友の会 〒918-8006 福井市足羽上町147

*E-mail: bactrothripsbrevitubus@gmail.com

3. 結果

今回の調査を通して足羽三山周辺からアザミウマ科2亜科4種が新たに記録された。その内3種は福井県初記録であった。福井県初記録の種については採集地・採集場所とともに分布情報を示す。種名は基本的に学名で示し和名のあるものには和名を付した。分布情報及び和名については榎本(2016)及びインターネット上のサイトThripsWikiを参考にした。同定は断りのないものは著者による。

Thripidae アザミウマ科

Sericothripinae セリコアザミウマ亜科

Neohydatothrips bicolor Masumoto & Okajima

鹵谷中央公園：5exs,4.V.2019. (図1)

分布：本州

植栽されたフジの若葉及び花から得られた。福井県初記録。

榎本博士同定。



図1. *Neohydatothrips bicolor*

Thripinae アザミウマ亜科

クサキイロアザミウマ

Anaphothrips obscurus (Müller)

西谷中央公園：1♀, 30.VIII.2020. (図2)

分布:北海道・本州；ハワイ・オーストラリア・ニュージーランド・ヨーロッパ・アフリカ・北米
イネ科植物から得られた。福井県初記録。



図2. クサキイロアザミウマ

Ayyaria chaetophora Karny

カルチャーパーク：1♀, 14.VII.2021. (図3)

分布:九州；台湾・インド・タヒチ

アカメガシワの葉上から得られた。福井県初記録。



図3. *Ayyaria chaetophora*

カホンカハナアザミウマ

Frankliniella tenuicornis (Uzel)

西谷：1♀, 27.IX.2020. (図4)

イネの穂から得られた。

今回の調査の特記事項として西谷中央公園内のエゴノキタケの子実体の発生しているエゴノキの立ち枯れ(図5)樹皮下から*Hoplothrips fungi*のコロニーを発見したことを挙げる。樹皮下には多数(概算で成虫が500頭ほど)の短翅型・長翅型成虫・卵・幼虫・蛹が観察された(図6-9)。

以下に2017年の報告で脱色前の写真(体色の情報)



図4. カホンカハナアザミウマ



図5. エゴノキの立ち枯れ



図7. *Hoplothrips fungi*短翅型



図8. *Hoplothrips fungi*長翅型



図6. エゴノキの立ち枯れ (樹皮下)



図9. *Hoplothrips fungi*の卵と幼虫及び成虫

を示せなかった種の写真を掲載する.

4.終わりに



図10. ハラオピアザミウマ



図14. ビワハナアザミウマ



図11. *Aptinothrips rufus*



図15. クロゲハナアザミウマ



図12. ヒラズハナアザミウマ



図16. *Acallurothrips spinurus*



図13. マメハナアザミウマ



図17. *Nesothrips brevicollis*



図18. イトランクダアザミウマ



図22. *Karnyothrips* sp.



図19. *Bamboosiella lewisi*



図23. オオコブクダアザミウマ



図20. トゲナシクダアザミウマ



図24. *Podothrips odonaspicola*



図21. *Holothrips* sp.



図25. カキクダアザミウマ

今回の調査で足羽三山周辺から新たに4種のアザミウマが記録された。前回の調査と合わせると、シマアザミウマ科1種、クダアザミウマ科2亜科23種、アザミウマ科2亜科17種の計41種が足羽三山周辺から記録されたことになる。1地域のアザミウマ相を調査した例：皇居（東京都）の74種（岡島，2000）、フォレストパークあだたら（福島県）の62種（塘・吉澤，2008；2010）、裏磐梯地域（福島県）の75種（塘・志賀，2021）、尾瀬国立公園（福島・新潟・群馬）の59種（塘・榎本，2022）と比較すると記録種数は少ない。アザミウマは微小なため発見しにくいことを考慮すると、足羽三山においても調査を継続すれば記録種数は増加すると思われる。今後、未同定の種の検討を含め調査を継続する予定である。

謝辞

本稿の執筆・投稿にあたり福井市自然史博物館の梅村信哉氏はじめ、学芸員諸氏に様々なアドバイスをいただいた。横浜植物防疫所の榎本雅身博士にはアザミウマの同定調査に関して有益なご助言をいただいた。福井きのこ会の笠原英夫氏にはエゴノキタケの同定をしていただいた。この場を借りて感謝申し上げる。

引用文献

- 岡島秀治，2000，皇居で採集されたアザミウマ類。国立科博専報，(36)。
- Okajima, S., 2006, The Insect of Japan Vol.2, The Suborder Tubulifera. Touka Shobo, 720p.
- 岡島秀治・榎本雅身，2022，日本原色アザミウマ図鑑。全国農村教育協会，622p.
- 岸本修・佐々治寛之，1998，アザミウマ目 THYSANOPTERA，福井県自然環境保全研究会昆虫部会編，福井県昆虫目録第2版，福井県，p63.
- 工藤巖・芳賀和夫，1988，分類，梅谷献二・工藤巖・宮崎昌久編，農作物のアザミウマ，全国農村教育協会，95-107.
- Kudo, I., 1991, Sericothripine Thrips of Japan (Thysanoptera, Thripidae). *Jpn. J. Ent.*, **59**(3), 59-538.
- Kudo, I., 1992a, Panchaetothripinae in Japan (Thysanoptera, Thripidae). *Jpn. J. Ent.*, **60**(1), 109-125.
- Kudo, I., 1992b, Panchaetothripinae in Japan (Thysanoptera, Thripidae). *Jpn. J. Ent.*, **60**(2), 271-289.
- Kudo, I., 1992c, Panchaetothripinae in Japan (Thysanoptera, Thripidae). *Jpn. J. Ent.*, **60**(3), 467-482.
- Masumoto, M., 2009, Taxonomic study of Japanese Thripinae (Thysanoptera, Thripidae), with consideration of supra-genetic relationships based on morphological characters, Doctoral thesis, Tokyo University of Agriculture, 671p.
- 榎本雅美，2016，Order THYSANOPTERA 総翅目（アザミウマ目）。日本昆虫目録編集委員会編，日本昆虫目録第4巻準新翅類，権歌書房，44-85.
- Masumoto, M. & Okajima, S., 2019, Review of the Aeolothripidae (Thysanoptera) in Japan., *Zootaxa*, **4564**(2), 301-326.
- 柴田智広，2015，福井県産オオアザミウマ亜科の分布記録。福井市自然史博物館研究報告，(62)，81-82.
- 柴田智広，2016a，福井県産土壌性アザミウマの分布記録。福井市自然史博物館研究報告，(63)，85-86.
- 柴田智広，2016b，福井県産Hoplothrips属3種の記録。福井市自然史博物館研究報告，(63)，87-88.
- 柴田智広，2017a，足羽三山周辺のアザミウマ。福井市自然史博物館研究報告，(64)，63-68.
- 柴田智広，2017b，ヨツコブトゲクダアザミウマのササ類からの採集記録。福井市自然史博物館研究報告，(64)，93-94.
- 柴田智広，2019，足羽三山周辺のアザミウマ補遺1。福井市自然史博物館研究報告，(66)，85-88.
- 柴田智広，2020，坂井市三国町におけるEthirothrips antennalisの採集記録。福井市自然史博物館研究報告，(67)，87-88.
- 柴田智広，2022，三ノ峰周辺のアザミウマ類。福井県自然保護センター研究報告，(25)，43-49.
- 塘忠顕・吉澤領，2008，福島県民の森「フォレストパークあだたら」のアザミウマ相。福島大学プロジェクト研究[自然と人間]研究報告，(7)，23-38.
- 塘忠顕・吉澤領，2010，福島県民の森「フォレストパークあだたら」のアザミウマ相（補遺）。福島大学プロジェクト研究[自然と人間]研究報告，(8)，18-24.
- 塘忠顕・志賀澄歌，2021，裏磐梯地域のアザミウマ相。福島大学地域創造。32 (2)，167-204.
- 塘忠顕・榎本雅身，2022，尾瀬国立公園から記録されたアザミウマ類（昆虫綱：総翅目）。低温科学，(80)，391-402.
- Thrips around Asuwa three mountains additional records 2
Tomohiro Shibata

Abstract

Four thrips species collected around Asuwa three mountains in 2019-2022 were newly listed.

Key words

Asuwa three mountains, thrips